

はちのへ商工ニュース[八戸商工会議所会報]

HACHINOHE 商工
News

2P - 3P インタビュー
4P - 5P はちのへ活性化プロジェクト
6P 八戸商工会議所 青年部 YEG DASH vol.16
7P プレミアム商品券
8P 女性会だより
9P インフォ&レポート
10P インフォ&QRヨミモノナビ
11P 月間スケジュール



表紙 / インタビュー

Koz Consulting
代表
小澤 尚子 さん

HACHINOHE 商工 News
八戸商工会議所会報誌 はちのへ商工ニュース 第1700号 2026年8月15日発行 編集・発行 八戸商工会議所

事業承継、準備OK?

早めの相談がGood!

親族内
での
承継

従業員
への
承継

第三者
への
承継

さまざまな事業承継に対応します

◀ 例えば、こんな **お悩み** ありませんか? ▶

例 1 親族に後継者がおらず、会社やお店の廃業または譲渡を考えている方

例 2 後継者のいない会社を引き受けて事業を拡大したい方

例 3 具体的にどのように承継すればよいかわからない方 など...

まずはお気軽にご相談ください!

相談無料
秘密厳守

青森県事業承継・引継ぎ
支援センター

E-mail: hikitsugi@21aomori.or.jp | HP: <https://www.21aomori.or.jp/jigyoku-shoukei>

017-723-1040

詳しくは
コチラから

「継がせたい人」も
「継ぎたい人」も
「全力でサポート」します

譲渡

洋菓子工房
ノエル

譲受

株式会社
田村商事

令和7年7月事業譲渡

■■ 八戸商工会議所 事業承継定例個別相談会 ■■

以下の日程で事業承継に関する相談会を開催します。

令和8年8月27日, 9月11日, 10月9日, 11月13日, 12月11日,
令和9年1月15日, 2月12日, 3月12日

◆開催時間 ①13:30 ②15:00 (1案件あたり1時間程度)

◆お申込は八戸商工会議所 (0178-43-5111) まで

ウェブサイトで、
実際に事業引継ぎをした
経営者のエピソードを
公開中!



事業承継・引継ぎポータルサイト
<https://shoukei.smrj.go.jp/>



八戸商工会議所
公式ウェブサイト

〒031-8511 青森県八戸市堀端町2-3 TEL 0178-43-5111 FAX 0178-46-2810

八戸商工会議所
HACHINOHE CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY

「八戸で挑戦したい」と若者が戻りたくなる組織を目指すには、
属人化を防ぎ、現代の労働寿命に即した仕組み化が必要です。
これからの時代を生き抜く組織戦略について、小澤尚子さんに伺いました。

人材を「コスト」から「投資」へ ものの見方を変え、若手に選ばれる企業へ

「いつかは八戸に」抱き続けた想い

父の仕事の都合で、幼少期に埼玉県から八戸市へ家族で移住しました。最初は方言が分からず、コミュニケーションには苦労しました。その後、東京へ出て外資系企業でキャリアを積みました。充実した日々を送る一方、家族と離れた寂しさも感じていました。長女という立場もあり、「いつかは八戸に戻らなければ」という想いも抱え続けていました。

八戸の暮らしで気に入っているのは、食の

豊かさ。新鮮な海の幸はもちろん、地元で採れる野菜や果物も驚くほど美味しい。都市部の友人に八戸の特産品を贈るととても喜ばれます。

若手に選ばれる企業の素質とは

現在、最も力を入れて取り組んでいるのは、企業の人材・組織に関する支援です。経営者が抱える人材の悩みを丁寧に伺い、根本的な解決とともに目指します。多くの地方企業が「若手人材の採用」に頭を悩ませていますが、実は「採用」だけを変えようとしても解決には繋がりません。若手が定着するための離職対策や、自社の魅力を正しく発信する企業ブランディングも同時に設計する必要があります。

ここで重要になるのが、経営層のマインドセットです。人材にかかる費用を単なる「コスト」と捉えるか、未来の利益を生む「投資」と捉えるかで、組織の未来は大きく変わります。既存の枠組みを柔軟に変えられる企業は、若手に選ばれる素質を持っています。採用とは他社との競争ではなく、自社に合う人を迎え入れるための準備。これまでの常識にとらわれず、ものの見方を変えることが重要です。

持続可能な「仕組み化」が鍵

外資系企業で培った「スピード感」「多角的な視点」「定量と定性による分析」という3つを軸に、プロとして120%の力でクライアントと向き合っています。その姿勢が、

信頼関係を結ぶ誠実さへと繋がっていると感じます。社員の皆様とも積極的にコミュニケーションを取り、一緒に飲みに行ったり朝まで語り合うことも。社内では決して言えない「本音」の中にこそ、企業が抱える本質的な課題が隠されています。

クライアントの課題に向き合うとき、頭の中には常に「どうすれば仕組み化できるか」という問いがあります。仕事の属人化は、その人にしかできない役割を作ること雇用や立場を守るメリットがある一方、その人が突然抜けたときのリスクヘッジはされていません。マニュアル化やDX化により仕組み化することで効率を上げ、浮いた費用を若手の採用や社員のケアに回すこともできます。労働寿命が長期化する現代において、組織として持続可能な仕組みを作ることは不可欠です。

視点を変えて新しい挑戦を

人口減少という課題に対し、私たちは視点を変えて新しい挑戦を始める必要があります。採用市場において「大卒が採れないなら高卒を」と考える企業もありますが、両者のキャリア形成は大きく異なります。毎年コンスタントに高卒採用に成功している企業は、人材育成の体制が仕組化され、しっかりと整っているのです。

また、若者を地域に引き留めるのではなく、一度外の世界に出てビジネスの厳しさやスピード感を学び、その経験を持った

うえで戻ってきてもらう方が、結果的に地域活性につながるのではとも考えます。そのためには「また八戸に戻って挑戦したい」と思えるような受け皿を地域で作らなければなりません。地域・企業が一丸となって魅力を正しく伝え、八戸に人を呼び込む流れを作りたいです。

小さく始め、専門性を磨く

起業したばかりの方にお伝えしたいのは、最初から大きなことを目指すのではなく、まずはできる小さな一歩を踏み出すこと。そして、自分の専門性を磨き続け、どんな未来を実現したいのかというビジョンを明確に持つことが大切です。簿記や確定申告には苦労しましたが、商工会議所のみなさんに支えてもらい、今でも何でも相談できる存在です。困ったときに支えてくれる人とのご縁を大切にしながら、一歩ずつ着実に進んでほしいと思います。

「働く幸せ」に寄り添う組織へ

わたしは「働く人たちの心身の幸せ」を目指し、企業に深く入り込んで「人に関わる悩み」とともに解決していきたいです。組織や人材不足に悩む地域企業のみなさま、まずは現状を否定せず、自社のものの見方を少し変えることから始めてみませんか。一人ひとりの「働く幸せ」に寄り添う強い組織づくりを目指し、今後も地域に貢献していけたらうれしいです。



商工会議所が頼れる相談相手



セミナー講師としての実績も多数



海外から取り寄せるほどのワイン好き



「若い世代が成長し、羽ばたいていくのを見るのがとても幸せ」と語る

DATA



お問い合わせ

Koz Consulting

創業：2025年
住所：〒031-0842 青森県八戸市岬台1-11-3
事業内容：人事支援（人材育成・リクルーティング）、
企業研修・セミナー講師
Mail: info@koz-consulting.com

PROFILE

小澤 尚子 さん

埼玉県生まれ、八戸市育ち。SEとして外資系企業でIT業務や研修に従事。日本語教師やメンタルケアの資格も取得し、IT・DX・生成AIからハラスメント・アサーションまで幅広い研修講師や、業界を問わず人材に関わる課題に悩む企業の支援に携わる。2025年10月に独立開業。趣味はスポーツ観戦。



取引拡大委員会

Buyはちのへ 七夕ナイトの開催

7月18日と19日、八戸七夕まつりに併せ、八戸まちなか広場マチニワにて、「Buy はちのへ七夕ナイト」を開催しました。本イベントでは、地元の味や食材の魅力を広く伝えるため、地域で活躍する人気店舗やキッチンカーにご出店いただきました。

会場では、八戸産姫牛のローストビーフやスパゲッティナポリタンをはじめ、地場産品を活かしたこだわりのグルメやドリンクが提供され、多くの来場者は、地元の食の魅力を存分に堪能されました。

また、イベント出店店舗で商品をご購入いただいたお客様を対象に、お楽しみ「ガチャガチャ企画」を実施いたしました。景品には、地元企業の商品をはじめ、「Buy はちのへ運動」の趣旨や啓発デザインが施されたオリジナル箱ティッシュ、クリアファイル、メモ帳などをご用意しました。お買い物を楽しんでいただきながら、地元商品の優先購入（地産地消・地域経済の循環）を呼びかける「Buy はちのへ運動」の理解促進と周知を図る絶好の機会となりました。



中心街委員会

第74回 八戸七夕まつり 企業協賛の輪広がり、 盛況に開催

7月17日(金)から19日(日)の3日間、第74回八戸七夕まつりが中心街(十三日町～三日町、ヤグラ横町)で開催されました。3日間とも雨の天気予報が出ていましたが、2日目に小雨がばらついた程度にとどまり、会場には家族連れはもちろん、学生や浴衣姿の来場者の姿も多く見られました。

初日、恒例の第56回八戸小唄流し踊りを皮切りに七夕まつりがスタート。今回から企業協賛のもと設置された大型飾り「七夕やぐら」には、くぐり抜けたり写真に収めたりする来場者の姿が3日間絶えることなく続きました。また、市民や団体等が製作した思い思いの七夕飾りと、企業の皆様から協賛いただいた飾りからなる「ストリート七夕飾り」も昨年より多く展示され、なかには八戸ならではのイカをかたどった飾りもあり、昨年に増して華やかなメインストリートとなりました。

学生連携の一環として、アレック情報ビジネス学院によるオリジナルうちわ作成ワークショップや八戸学院大学の射的・ホッケーシュートチャレンジ、ドライフラワーを使ったオリジナルハーバリウム「小さな花の宝箱づくり」のほか、八戸理容美容専門学校によるネイル・ボディペイント、八戸工業大学による「HIT-七夕を遊ぶ」でのeスポーツ・ゲーム体験など様々な企画が来場者を楽しませ、学生ボランティアの協力による「短冊に願いごとを書こう!」も昨年に引き続き大好評をいただきました。

路上ステージではバンド演奏やダンスパフォーマンスが繰り広げられ、中心街全体が一体となり、3日間を通して大いに賑わいました。



協賛広告企業一覧



2周連続特別開催

8/22(土)のはちのへホコテンは、花火大会同日開催！

今年の八戸花火大会は初の土曜日開催となることから、はちのへホコテンも8月22日(土)に開催します。中心街と花火大会会場(館鼻漁港)を結ぶ有料シャトルバスも運行されるので、「ホコテン→花火大会→横丁」と一日を通して楽しんでみてはいかがでしょうか？

●イベント開催時間：11:30～15:30（交通規制時間 11:00～16:00）

9/26(土)は夕方から「夜のホコテン」を開催！

9月は、16時30分から20時30分の夕方から夜にかけての時間帯でホコテンを開催します。秋の日暮れどきの中心街を、いつもとは違った雰囲気でお楽しみいただけます。

●イベント開催時間：16:30～20:30(交通規制時間 16:00～21:00)

会場は、八戸中心商店街の十三日町、三日町、ヤグラ横町エリア。皆さまのご来場をお待ちしております。

観光委員会

今年はひと味違う、八戸線臨時列車 「ひなび八戸 三社大祭前夜祭号」

7月31日、JR東日本の観光列車「ひなび」は、今年度「三社大祭前夜祭号」として八戸駅～久慈駅間を全車指定席で1往復運行されました。

当委員会では、ひなびの八戸駅出発時のお見送りを行ったほか、本八戸駅で下車された利用客に、三社大祭前夜祭の会場である市庁前や中心街への案内に協力しました。

当日は多くの観光客でにぎわいを見せ、沿道では山車の準備やお囃子の音色に耳を傾ける姿も見られ、一足早く三社大祭の魅力を満喫していました。

当委員会では、今後も各機関とも協力し、観光振興と地域のにぎわい創出に努めてまいります。





はちのへ プレミアム商品券2026 購入お申込み受付スタート!



申込期間 令和8年9月1日(火)～9月15日(火)

八戸商工会議所では地域の個人消費の喚起と家計負担の軽減を目的として、青森県内在住者を対象とした「はちのへプレミアム商品券2026」を発行します。

プレミアム率20%

25万セット
発行!

販売内容 1セット1,000円券×12枚＝12,000円分を10,000円で販売!

利用期間 令和8年10月1日(木)～12月31日(木)

申込対象者 青森県内にお住まいの方 ※県外にお住まいの方はお申込みいただけません。

申込・購入の流れ

特設ウェブサイト



Step 1 お申込み

9月1日～15日

特設ウェブサイトからお申込みください。

- ・おひとり様1回限り・最大10セットまでお申込み可能です。
- ・申込対象は青森県内在住の方に限ります。
- ・八戸市内でのみ販売となりますので、八戸市外の方はご考慮の上、お申込みをお願いします。
- ・お申込みにあたり、メールアドレスが必要になります。

Step 2 当選発表

9月下旬

厳正な抽選のうえ、当選者のみに「引換券」を9月30日頃までに郵送。

- ・応募多数の場合、ご希望セット数より少ない当選となる場合があります。(例:10セット希望→5セット当選など)

Step 3 引換・購入

10月1日～19日

八戸市内の下記「販売所」へ引換券をご持参のうえ、現金でご購入ください。

- ・商品券を使えるお店は、9月1日以降に公式サイトにてご確認ください。

はちのへ
プレミアム商品券2026
販売店

1. イオンスタイル八戸沼館
2. イオン八戸田向店
3. カネイリ番町店
4. コワーキングスペース&カフェエスタシオン
5. 八食センター
6. プチマート是川
7. マエダストア売市店
8. マエダストア
9. ユニバース 八戸ニュータウン店
10. ユニバース 南類家店
11. よこまちストア旭ヶ丘店
12. よこまちストア一番町店
13. ラビア

お問い合わせ

はちのへプレミアム商品券2026事務局 TEL.0178-70-5172

受付時間／ 平日9:00～18:00（土日祝、年末年始12月29日～1月3日 休み）
〒031-0031 青森県八戸市番町22-1 番町NDビル1F(BeFM内)

電話でのお申込みは受付けておりません。



YEG会員募集中! 申し込みは
こちらから! ▶▶



共にワクワクする新時代へー。

委員会やいろんな事業に参加して、活動の場を広げよう!
その先には、きっと素敵な仲間とわくわくが待っています!

活動報告

令和8年度7月定例会・第1回臨時総会を開催



令和8年7月22日(水)、八戸プラザホテルにて「令和8年度7月定例会・第1回臨時総会」を開催しました。

定例会では岡本会長の挨拶に続き、各委員会による新規事業の告知や交流会への参加募集、新入会員へのバッジ贈呈が行われました。さらに、政策提言委員会より「八戸BPO構想」や「プロスポーツを活用したスポーツ都市構想」に関する報告があったほか、八戸花火大会実行委員会より、花火大会に向けたボランティアの協力依頼がありました。

第1回臨時総会では、令和9・10年度会長予定者として田中健悦君が満場一致で可決され、来賓挨拶では広瀬知明副会長よりあたたかい激励の言葉をいただきました。

その後の研修会では、dezanin代表の高橋雄一郎氏を講師に迎え、「地域の誇りを、観光ビジネスに変える」をテーマに既存資源に価値を持たせるヒントを学びました。懇親会では福島そうま大会のPRキャラバンも交え、会員の結束をより深める充実した一日となりました。



活動報告

商工会議所青年部 第23回 全国サッカー大会 ふくい大会参加

令和8年7月10日(金)～12日(日)、「第23回全国YEGサッカー大会ふくい大会」が福井県福井市にて開催され、八戸YEGからは昨年の倍となる20名が参加しました。

私たちは「1day 11人制エンジョイサッカーリーグ(Y3)」に出場し、3試合を全力でプレイ。灼熱の太陽の下、熱中症やアクシデントもありましたが、全員笑顔で、最高の時間を過ごすことができました。

大会を通じて、名物の絶品グルメをはじめ福井の魅力を存分に堪能するとともに、全国のYEGメンバーとの貴重な交流を深めることができました。大会を温かいおもてなしで設営してくださった福井YEGの皆さま、そして関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

八戸YEGは、これからもスポーツを通じた「仲間づくり」「絆づくり」を大切に、組織の熱量をさらに高めてまいります。



Report

八戸市に対する緊急要望

多発する地震の被害と影響に関する緊急要望

当所・武輪俊彦会頭は7月14日、熊谷雄一八戸市長を訪れ、「多発する地震の被害及び影響に関する要望」を行いました。

武輪会頭は「短期間に多発した地震により建物や設備等への被害やダメージが累積している。被災事業所の早期復旧に対する支援と、消費喚起施策と風評被害を防止するための前向きな情報発信をお願いしたい」と要望しました。

これに対し、熊谷市長は「補助金については知事と方針を確認している。広報を強化して、八戸市への観光等への影響や自粛、風評被害を防止したい」とお話しされました。

要望の概要は次のとおり。

1. 被災事業所の早期復旧に対する支援

- (1) 建物・設備・商品等の早期復旧に資する支援
- (2) 事業の早期復旧に資する金融及び税制支援

2. 経営安定化に向けた支援

- (1) 飲食・宿泊・小売・サービス業等の観光関連産業の売上回復を図るための消費喚起施策の実行
- (2) 「食のまち・八戸」を推進している当地域の観光等への影響や自粛、風評被害を防止するための前向きな情報発信



Information

補助金のお知らせ

八戸市中小企業なりわい再建被災資産復旧事業補助金の二次募集について

① 補助金の概要

令和7年青森県東方沖地震、令和8年三陸沖地震及び令和8年岩手県沖地震により被災した中小企業者の復旧を支援することで、事業活動の速やかな再興と雇用の維持を図り、もって地域経済の持続的な発展に資するため、当該中小企業者が所有する事業用の資産の復旧に要する経費について、市が補助金を交付するもの。

② 補助対象者

市内に事業所を有する中小企業者

③ 補助対象経費

令和7年青森県東方沖地震、令和8年三陸沖地震及び令和8年岩手県沖地震により被害を受けた資産(施設又は設備)の復旧に要する経費

④ 補助金の額・補助上限額

- (1) 補助金の額 補助対象経費の3分の2に相当する額以内の額
- (2) 補助上限額 1,000万円(1事業者当たり) ※すでに一次募集で交付決定(上限500万円)を受けた場合でも、要件に該当すれば補助金額が追加となる可能性があります。

⑤ 申請期限

令和8年9月30日(水) ※本補助金の申請・交付は先着順ではありません。

中小企業なりわい再建被災資産復旧事業補助金について

<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/shokoka/hojo/chusho/25154.html>

【お問合せ】

- 八戸市商工労働まちづくり部 商工課 商工振興グループ
TEL : 0178-43-9242
E-mail : shoko_hojo@city.hachinohe.aomori.jp



Report

総合陳情

令和8年度総合陳情

八戸市及び八戸商工会議所並びに関連団体代表は、7月10日に青森市の国土交通省青森河川国道事務所及び青森県県土整備部、7月13日に仙台市の東北地方整備局、7月16日に国土交通省及び地元選出国會議員を訪れ、陳情を行いました。

本陳情における要望事項は、次のとおり。

- ① 八戸市体育館の建て替えに係る財源措置について
- ② 一級河川馬淵川の改修事業促進について
- ③ 三陸沿岸道路の機能強化について
- ④ 「八戸～青森間」等の高規格道路網の整備・機能強化、都市計画道路の整備予算確保、国道45号の交差点改良の整備促進について
- ⑤ 八戸港の早期本格復旧及び整備促進並びに国際拠点港湾の指定について



今後も関連機関と連携して、地域経済の発展や産業の振興に資する活動を続けてまいります。



青森県商工会議所女性会連合会総会(十和田大会)

6月18日、十和田市にて、「青森県商工会議所女性会連合会総会(十和田大会)」が開催され、当女性会から岡沼会長をはじめ9名が参加しました。

講演会では、スポーツやぶさめ普及の第一人者である(有)十和田乗馬倶楽部 代表取締役 上村 鮎子氏を講師に、「伝統を革新する“挑戦の矢”～女流騎士に学ぶ地域と企業の成長戦略～」をテーマにご講演いただきました。

懇親会では県内各地の会員同士で親睦を深めたほか、十和田のベリーダンスチームによるパフォーマンスや地場食材を使った料理と、十和田女性会の手作りのなべっこだんごも、提供され、会場は大いに盛り上がりました。

東北六県商工会議所女性会連合会総会(みやぎ石巻大会)



7月3日、宮城県石巻市にて「東北六県商工会議所女性会連合会総会(みやぎ石巻大会)」に、当女性会から岡沼会長をはじめ12名が参加しました。東北六県44単会より合計535名が集いました。

会員大会では、当会会員の矢田部裕子氏が「理事等役員及び会員表彰」を授与されました。記念講演会では、AFCO&SONS 代表取締役 菊池 祐子氏による「石巻から世界へ～これからの挑戦とは～」と題したご講演が行われました。交流懇談会では、巨匠・石ノ森章太郎氏が生んだ石巻のヒーロー「シージェッター海斗」の登場や、寺崎はねこ踊り保存会による「ものうはねこ踊り」が披露され、大いににぎわいました。

定例交流会初開催
(主管:研修委員会)

7月17日、八戸商工会館にて、定例交流会を開催しました。今年度より、会員相互の交流と親睦を深め、情報交換等を行う場として、奇数月の第3金曜日に定例交流会を開催いたします。今回は、自己紹介や事業所PRの後、日本たばこ産業(株) 人事部 DE&I 課長代理 三浦 法子氏より、「誰もが働きやすい職場づくり～DE&Iとアライシップ～」をテーマに、多様性の基礎知識、ケースワークなど、ご講話いただきました。その後、テーマに沿って、意見交換を実施し、会員同士の交流を深めました。

Buyはちのへ
セタナイトへの出店★

7月18日・19日の2日間、「マチニフ」にて開催された「Buyはちのへセタナイト」に出店しました。当日は、お菓子すくいとポップコーンを販売し、多くのお客様にお立ち寄りいただきました。ご用意した商品は売完となり、大盛況のうちに終了することができました。



公式Instagramの
フォローをお願いします。

この度、当会の活動をより身近に感じていただけるよう、公式Instagramをスタートいたしました!ぜひ「フォロー」や「いいね!」で応援していただけると嬉しいです!



当所および関連団体の

主なスケジュール

2026

8.15^土-9.20^日

① 下記掲載情報は、さまざまな事由により変更、追加または中止になる場合があります。

8月 17 情報・医療福祉部会／総会	8月 27 事業承継／定例個別相談会
8月 17 水産業部会／総会	8月 28 女性会／理事会
8月 18 食品商業部会／総会	8月 31 中心街委員会
8月 18 工業部会／総会	9月 9 青年部／役員会
8月 19 経営金融相談	9月 11 事業承継／定例個別相談会
8月 20 建設業部会／総会	9月 12 創業者勉強会・交流会
8月 21 外国人材就労環境推進ネットワーク会議	9月 14 デジタルインボイスセミナー
8月 22 はちのへホコテン	9月 15 会員親睦ゴルフ大会
8月 23 創業セミナー「できるかもから始める創業入門講座」	9月 16 創業者向け「ゼロから学ぶ生成AI活用セミナー」
8月 24 はちのへ未来創造塾／開講式	9月 17 運輸交通部会／八戸港視察会



あなたの商品を「三沢空港の新たな名物」にしませんか？

「三沢空港 空の逸品コンテスト」応募商品募集

三沢空港では、空港から全国へ発信する新たな特産品・土産品を発掘する「三沢空港 空の逸品コンテスト」を開催しています。青森県南・下北地域には、地域の素材や技術、歴史や文化を生かした魅力あふれる商品が数多くあります。しかし、その一方で、「販売する機会に限られている」「商品を広く知ってもらう場が少ない」といった課題もあります。

本コンテストは、そうした地域の優れた商品を発掘し、三沢空港という地域の玄関口から全国へ発信することで、新たな販路拡大や地域ブランドの向上につなげることを目的としています。

応募対象は、青森県南・下北地域などにゆかりのある食品、菓子、飲料、工芸品などです。新商品のほか、現在販売している既存商品も応募できます。

入賞商品は、三沢空港売店「スカイマート・ビードル」で販売するほか、半年間販売手数料を無料とし、空港利用者へのPRや、国内他空港で開催される物産展・イベントなどを通じて広域的な販路拡大を支援します。また、「三沢空港 空の逸品」認定マークを付与し、空港が認定する地域ブランド商品として継続的にPRしてまいります。

三沢空港から全国へ、そして多くのお客様へ。

地域の魅力が詰まった"空へ羽ばたく逸品"との出会いを楽しみにしています。皆さまのご応募を心よりお待ちしております。

募集期間：令和8年7月17日(金)～10月31日(土)
応募対象：青森県南・下北地域等にゆかりのある商品(既存商品・新商品とも可)
応募点数：原則3商品まで
販売場所：三沢空港売店「スカイマート・ビードル」内特設コーナー「空の逸品」
販売手数料：半年間無料

事業スケジュール

令和8年7月17日(金)～10月31日(土)	募集
11月(予定)	審査・選定(専門の審査員が選定します)
令和9年1月	売場整備(選定商品の魅力を引き出す売場を整備)
2月～	販売開始(販売・テストマーケティングをスタート!)

三沢空港の売店「スカイマート・ビードル」

県内地域のアンテナショップ機能を有する売店です。旅行者・ビジネス客・帰省客など、年間約30万人が利用する三沢空港から、地域の魅力を **全国へ発信!**



●お問い合わせ・応募先

三沢空港ターミナル株式会社 TEL.0176-53-7500

応募方法など詳しくはQRコードをご覧ください ▶▶▶▶



8月は「電気使用安全月間」です。

夏は肌の露出が多くなり汗もかくことから、電気が流れやすくなります。また、暑さにより注意力が散漫になりがちなため、感電事故が多くなる傾向にあります。

そこで、経済産業省では、毎年8月を「**電気使用安全月間**」と定め、関係団体の協力のもと電気に関する安全運動を展開し、広く電気事故防止を呼び掛けています。電気安全に心がけましょう。

あんぜん、きづく、あんしん
東北電気保安協会

濡れた手でコンセントやプラグに触れるのはやめましょう。



QR YOMIMONO NAVI QRヨミモノナビ

下記QRよりWEBサイト上でいつでも無料でご覧いただけます。

商工会議所LOBO調査

2026年7月版

日本商工会議所LOBO調査公式 WEBサイト



LOBO調査は全国各地商工会議所が参加する全国規模の早期景気観測調査です。

青い森しんきん Report

2026年6月版

八戸商工会議所WEBサイト「青い森しんきんReport」



八戸市の漁業・水産加工業、建設業、鉄鋼業、個人消費における最新動向をお伝えします。

ディスカバリーコラム

2026年8月版

八戸商工会議所WEBサイト「ディスカバリーコラム」

